

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院放射線治療科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2025年1月1日 ～ 2025年12月31日の間に、右乳がん術後照射のために虎の門病院放射線治療科に入院・通院し、放射線治療を受けられた方

【研究課題名】

乳がんに対する体表面画像誘導放射線治療のための関心領域の最適化と皮膚マーキング法との位置精度の比較

【研究の目的・背景】

《目的》

近年、特に乳房領域に対する放射線治療では体表面の位置を検出する機器を用いたSurface-Guided Radiation Therapy(SGRT)が行われています。本研究では過去の患者様の位置照合用の放射線画像をレトロスペクティブに解析し、患者様の位置合わせに関してSGRTが従来法である皮膚マーキングと同等以上の精度があるかを確認します。それにより、皮膚マーキングを行わないマーカーレス治療の実現可能性を検討します。本研究はマーカーレス放射線治療の導入により、従来法より患者様の精神的負担を軽減することを目的とします。

《研究に至る背景》

従来の放射線治療では患者様の皮膚にペンで多くの線を書くため、放射線治療期間中の線の維持や見た目の点で患者様に大きな精神的負担をかけています。皮膚マーキングを使用しないで従来と同等かそれ以上の精度で放射線治療が可能であるかを確認します。

【研究期間】

2026年4月28日 ～ 2027年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 診療記録、放射線治療位置照合用 X 線画像データ、体表面座標データ

【研究代表者】

虎の門病院 ・ 放射線部 ・ 小塚拓洋

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：放射線部 ・ 小塚拓洋

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

共同研究機関 なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2026年9月30日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 放射線部 ・ 和田雄暉

電話 03-3588-1111(代表)